

SHIN CLUB 193

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



今月のトーク/monthly talk

「上大崎の住宅」 撮影：吉田誠

子育て

写真は、このたび品川区に竣工した3世代住宅です。内装には、身体に優しい素材を使い、外壁の化粧型枠の打ち放しコンクリートと、前面の赤さび色の塗装のキャンティレバー、あふれ出る植栽の緑が、大胆な対比を見せています。建て主は、これまででもいくつか自邸を建てられていて、豊富な知識で素材の選定にあたられていたとのことでした。

政府は、少子化対策として3世代同居を推進する施策を平成27年度補正予算に盛り込みました。木造住宅を対象にしたこれまでの長期優良住宅等の整備促進の支援に加え、キッチン、浴室、トイレ、玄関の内、いずれか2つ以上を住宅内に複数箇所設置する住宅に対して、1戸当たり30万円を限度に加算するという補助金制度を設置、28年度の予算案では、新築だけでなく、改修支援にも広げたとのことで、税制上の軽減措置も一定期間、運用するとのことです。ちなみにこれは、木造の優良住宅対象なので、RC造等は対象になりません。

1月の厚生労働省の人口動態統計の発表では、全国で生まれた赤ちゃんは統計を始めて以来最低だった昨年を4000人上回り、5年ぶりに増加に転じて約10万8000人でした。しかし、3月「保育園落ちた、日本〇〇」というSNSの投稿で火が付いた子育て世代の不満は、保育園の充実、保育士の待遇改善など問題が山積みだと改めて感じさせられました。生まれたばかりの子供を、じっくり自宅で育てたいのは、誰もが思うことでしょう。でも将来は不安がいっぱいの環境だからこそ、仕事に早期復帰しなくてはならないという若い女性の状況がみえます。

内閣府の「少子化問題について」というレポート(平成26年2月)を参照すると、主要国とのデータには興味深い数字が見えます。フランス、スウェーデンでは女性の高労働力率と出生率の同時回復を達成しています。『主要国の出生率と女性の労働力率の関係』1970年~2010年)

	日本	フランス	スウェーデン	アメリカ
女性平均初婚年齢	29.2	30.8	33.0	25.8
第1子出産平均年齢	30.3	28.6	29.0	25.1
婚外子の割合(%)	2.1	52.6	54.7	40.6
家族関係政府支出対GNP%	0.96	3.20	3.76	0.70

(主要国の国際比較のデータ：資料出所は構成労働省の人口動態統計など)

特に、日本では結婚と出産が密接に結びついていますが、フランスやスウェーデンでは、第1子が婚外子である割合が50%を越えており、シングルマザーが子供を生み、育てていることがわかります。婚外子でも構わないという女性を支える制度がフランスやスウェーデン並にあれば、少し状況は変わるかもしれません。また、若い人が結婚・出産に二の足を踏む最大の理由、経済的負担が大きめという条件をまず解消することが必要です。即効性があるのは、直接的な予算を充てることです。確かに3世代同居で得られる人間関係の豊かさは、特にアジアで大切にされてきた文化ですが、同居を望まない若い世代もたくさんいます。一律、同じ条件で支援をしていくことの方が効果は出そうです。1年間一人100万円の育児補助があれば出産に踏み切れる人がもっといるのではないのでしょうか。6歳までは医療費が無料ということであれば、安心して子育てができます。

現在、子育て関連への予算配分は、日本は対GNP比1%以下、他の欧米諸国は3%前後となっています。例外はアメリカの0.7%(2008年)です。自己責任の国は、児童手当も育児休業も国全体で定める制度はありません。健康保険もないし、比較の対象になりません。ある意味、弱者には厳しい国ですね。子育てしやすい社会こそ、民度が高い文化国家といえるのではないのでしょうか。

上大崎の住宅

家族を守り、慈しむ、建て主の思いが込められた都心の住宅

多忙な仕事を持たれている建て主は、ご両親、2人のお子様との生活を充実させるため、新たな3世代住宅を希望された。

都心で多世帯の住宅となると、必然的に高密度なプランとなる。視線の抜け感を大事にし、自然を感じられる空間をめざした。地下1階、地上3階の建物は、ドライエリアが地下から地上2階まで吹き抜け、近隣との関係も精査して南側の光が一番取り込めるレイアウトとなっている。

構造はRC造で、車2台分の車庫を確保するため、2層分のキャンティレバーを用いて、その上に2階リビング、テラスを配置した。ことさら特殊な構造を強調したわけではないが、その部分はコンクリートの壁面に赤さび色のエイジング塗装を施し、コルテン鋼のような趣を出している。対する打ち放しコンクリートの壁面は、化粧型枠のための杉板を1回焼いて浮づくりの型枠パネルにし、さらに、1枚1枚、間に隙間を開けて、仕上がりが出目地となるように手間をかけて、より表情豊かな外観となっている。

ガレージ南側のアプローチを通り、玄関に入ると広いエントランスホールになっている。空調も入れ、ギャラリースペースが家具とその上の壁面に設けられており、仕事柄、来客の多い建て主のおもてなしの心が見える場所である。一方、フラットな床、ベンチは、ご両親の負担を軽くするものである。エレベーターは、可動階が3層分のため、将来も見据えたご両親の活動される地下1階から2階までとしている。

地下1階に、建て主の仕事部屋とお子様のプレイルーム、浴室・洗面所、1階は、エントランスの奥にご両親の部屋があり、2階はリビングダイニングとキッチン、そしてテラス、3階が建て主と子供部屋となっている。

浴室には、足触りの良い、温度変化の少ない防水性のコルクタイルを使い、さらにデザイン性のある壁面タイルや天井にヒノキを用いたりして「気は遣うけど、介護臭は出たくない」という建て主の大人の選定が活かされた、統一感のある仕上がりとなっている。

今回は持ち込み家具もなかったため、素材選びに多くの時間を費やすことができたが、それだけ仕上げの種類も多くなり、材料の取り合いは複雑な納まりになった。施工側の細やかな気遣いには感謝している。

(中村和基氏、出原賢一氏 / LEVEL Architects 談)



①



②



③



④

所在地：品川区
構造：RC造
規模：地下1階、地上3階
用途：専用住宅
設計・監理：LEVEL Architects
施工担当：堤
竣工：2015年9月
撮影：吉田誠



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨

①全景（夜景）②ガレージ南側のアプローチから1階エントランスを臨む。玄関扉下方にグレーチングを設け、地下のドライエリアの明るさを確保③1階エントランスホール。ご家族のためのベンチとギャラリースペースとなるコンクリート打ち放しの壁面④地階から2階まで吹き抜ける明るいドライエリア⑤2階リビングをキッチンから臨む⑥リビング。テラスの自動灌水によるボリューム感のある壁面緑化の洗面所・浴室。浴室内のベンチはご両親の安心スペース⑦リビング床は無垢のカバザクラ⑧間接照明の映えるリビングとテラスの壁面緑化

1 + 1 = 2 ではないメリットを活かす

中村和基・出原賢一／レベルアーキテクト



中村和基氏(左)と出原賢一氏(右) 撮影:アック東京

LEVEL Architects

今月は、「上大崎の住宅」の設計者、「LEVEL Architects」(レベルアーキテクト)の中村和基代表と出原賢一代表のお二人にご登場いただきます。

これまで2か所で運営されていたオフィスを、この1月、品川オフィスに統合、落ち着いた佇まいのマンションで、お仕事にもますます力が入ることでしょう。

—お二人とも、納谷建築設計事務所(納谷学、納谷新兄弟の設計事務所)の出身でいらっしゃるんですね。その折、2人で運営されている事務所のメリットを感じられたということでしょうか。

中村:そうですね。まず、1人でやるより2人の方が仕事のスピードが速い。また、ダブルチェック機能が働きますね。複数の住宅設計を、同時にこなせるのも2人だからこそです。1 + 1 = 2以上の仕事ができますね。

—昨年まで、大井町と横浜の2か所に事務所を置いていらっしゃいました。出原:都内と私の自宅がある横浜方面の両エリアを抑えられるという営業的な側面がありました。それぞれスタッフ3名ずつ割り当てていましたが、スタッフ間のコミュニケーションや効率を考え、12年目を迎える今回、一つにまとめることになりました。

中村:ここは品川駅に近く、国道1号線の車の音も少し内側に入ったところにあるのでほとんど聞こえません。静かで、プリンスホテルに隣接している裏側のテラスが緑に囲まれていて、実に気持ちいいんですよ。2人で内見して即決でした。

—お仕事する上で、お2人の役割は決まっていたりするのですか。

中村:特に決めてはいるわけではありません。その時々でメインに回ったり、サブに回ったりして仕事を進めています。性格的には、自分がオープンで、出原はきちんとしているというところでしょうか(笑)もちろん、事務所を一緒にやろうということですから、基本、気が合ってますね。

—住宅設計中心のお仕事ですと、細かいところまで詰めるので最後まで大変だと聞きます。年間かなりの数をこなされているようですね。

中村:そうですね、もう大変ですね。でも、そこでお客様としっかり向き合っているところがいいのだと思います。

—「LEVEL Architects」という事務所の名は、どういうところから来ているのですか。

中村:「LEVEL(レベル)を取る」という建築用語がありますが、いろんな人との関係において、同じように「フラットにバランスを取る」というコンセプトですね。

出原:お客様に対しても敷居が高くないように、お話をしやすい関係を作る。一緒に何かを作っていく感覚を大事にしています。

中村:ですから、お客様と私たちの間はとても雑談が多いですね。竣工後の1年メンテナンスのときなど、たいい飲み会になります。

—毎回、1年メンテの時はそうなるのですか。いい関係ができていないとできませんね。新たなご要望も出てくるでしょう。

出原:そうですね。お子さんが大きくなってくるとか、ご家族の構成の変化でいろいろ条件が変わります。長いお付き合いになるものですね。

中村:無事1年間、家を使いこなしてくれたかな、ということは当然気になります。竣工写真も、作りたてをそのまま撮るよりは、本当はスケール感や生活感が感じられ、住まいを使いこなしていらっしゃる場所を撮っておきたいものです。ですから、1年後、いい写真を改めて撮らせていただくことができるように頑張っています。

(事務所のHPには、暮らしを楽しんでいらっしゃるお客様を写した写真もところどころ差し込まれている)

—竣工写真は、ほんとに難しいですね。お引渡しの時のタイミングがとれなかったりすることも多いです。

中村:施工会社も、住宅の場合は特に、お客様からの要望にはまずスピードを持って当たってほしいですね。新築施工時だけでなく、メンテナンスのお話があったら翌週にはなんらかの形で動いていないと、お客様の機嫌を損ねてしまう。「まずは連絡」ということが大事です。

—今回の「上大崎の住宅」の現場施工について、建築専門誌の『日経アーキテクチュア 3/24』の特集で評価いただきましたが、その中で「建築家の先生方のネットワークが、施工会社の情報交換に非常に有効」とおっしゃっていましたね。

中村:やはり「この建築にはこの施工会社」という的確な情報を知っておきたいですね。お客様には施工の比較はできませんから、普段から設計者間で情報のやり取りするのが、実際には役に立ちます。

—施工者側もきめの細かい対応が求められますね。本日は、ありがとうございました。

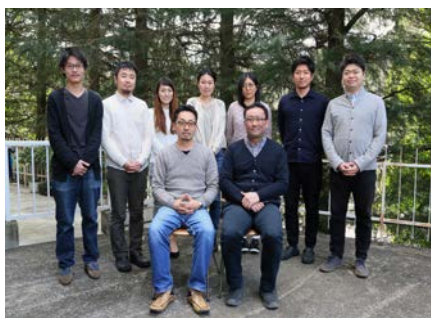
「的確なレスポンスがお客様との良い関係をつくります」

中村 和基

1973年生まれ
日本大学理工学部建築学科卒業
納谷建築設計事務所を経て、
2004年 LEVEL Architects 設立

出原 賢一

1974年生まれ
芝浦工業大学大学院工学研究科建設工学専攻修了
納谷建築設計事務所を経て、
2004年 LEVEL Architects 設立



新しいオフィスのテラスで、スタッフの皆さんと



駒沢公園の住宅 写真:吉田誠

「新入社員紹介」 2016年度入社の新人をご紹介します。



能田 伸也 (のうた しんや)
愛媛県出身 経営学科

1日も早く現場を任せもらえるように全力で頑張ります。3年後の自分を意識して日々の業務に取り組んでいきます。



櫻井 祐希 (さくらい ゆき)
日本女子大学 家政学部住居学科

今はわからないことや未熟なことだらけですが、建築が好きという気持ちを大切に、日々一所懸命に頑張って1日も早く成長していきたいです。



青山 直人 (あおやま なおと)
中央工学校 建築室内設計科 (2年制)

建築好きでいること。そして、建築屋辰で働くうえで、1日も早く建築のプロになれるように、一所懸命頑張りたいと思います。よろしくお祈りします。



富安 裕希 (とみやす ゆき)
実践女子大学 生活環境学科

まだまだわからないことばかりですが、自分からたくさんの方に挑戦していき、頑張っていきたいです。

「ZEN グループの新入社員研修が行われました」

3月31日



例年通り、今年も渋谷区内を中心に、弊社施工物件を巡る研修が行われました。引率3名、新入社員25名の合計28名が参加しました。建築の面白さを少しでも感じてもらえたでしょうか。皆さんの、新しい仕事場での活躍を期待しています。

『上大崎の住宅』の施工が「日経アーキテクチュア 2016年3/24号」で紹介されました。



今月ご紹介した、「上大崎の住宅」の設計者、LEVEL Architects様が、特集「今こそ安心品質 - 設計者と施工者の協力関係がカギ -」の中の、「品質を左右する工務店選び」で、辰の施工について触れています。どうぞご覧ください。(表紙写真は「上大崎の住宅」)

「(仮称) 八芳マンション新築計画」

地鎮祭 2016年3月15日



スカイツリーのお膝元で工事が始まります。

構造：RC造
規模：地上3階、
用途：店舗・共同住宅
設計：ケイ・オー総合計画事務所
完成予定：2017年1月

「(仮称) 中目黒マンション計画新築工事」

地鎮祭 2016年3月18日



中目黒駅前の一等地で建築させていただきます。

構造：RC造
規模：地上9階
用途：店舗・共同住宅
設計・監理：IAG コンストラクション一級建築士事務所
完成予定：2017年3月

「(仮称) 湯島Kビル新築工事」

上棟式 2016年3月18日



アルミニウム会社の東京営業所ビルで屋根・外壁横格子、パネルともアルミ製品で出来ている五角形の建物です。

構造：RC造
規模：地下1階、地上4階
用途：事務所
設計：計画意匠研究所 有馬立即
完成予定：2016年6月

「(仮称) 青葉台1丁目フラット新築工事」

地鎮祭 2016年3月24日



目黒川近くの角地に、商業施設ビルが着工します。

構造：RC造
規模：地下1階、地上3階
用途：スケルトン・店舗
設計・監理：勝岳史建築設計事務所
完成予定：2016年11月

編集後記

・TVでは、各地のお花見に海外からの観光客が押し寄せているというニュースが流れています。30年前、何もなかった近所の環状線には1kmも続く桜並木が満開となりました。「さまざまな事おもひ出す桜かな」【芭蕉】